

〔様式 1〕

## 事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	H15,3,20			
平成15年度	事業コード	15120	電話	042 - 749 - 2244
担当部課名	生涯学習部	相模大野図書館	奉仕	係
事務事業名	図書資料等充実経費			

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第5章	いきいきとした生涯学習社会をつくれます	事業開始年度
基本施策名	第1節	生涯学習の推進	元 年度
施策名	第2施策	生涯学習活動の支援	

## 2 実施根拠及び関連法令等

図書館法、市図書館条例等
--------------

## 3 事務の区分

自治事務
------

## 4 経費の区分

その他の経費
--------

## 5 事務事業の分類

市単独事業
-------

## 6 受益者負担

なし
----

## 7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
市民の生涯学習を支援し、その教養、調査研究、レクリエーションに資するため、図書館法に基づき計画的に図書資料の収集、整理、保存を行い、市民の利用に供する。	市民(他に、在勤在学者、広域利用協定締結市市民他)
	対象数 61万人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
<ul style="list-style-type: none"> <li>図書購入冊数 9,415冊 (図書購入予算額 17,720千円、執行済額 17,560千円 執行率 99.1%、以上公民館を除く)</li> <li>蔵書冊数 265,125冊</li> <li>利用冊数 567,437冊(年度末推計610,000冊)</li> <li>利用者数 228,425人</li> <li>開館日数 265日</li> </ul> (以上H15,2月末現在)	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～ 年度

## 8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	図書資料貸出回転率	$\frac{\text{図書貸出冊数}}{\text{蔵書冊数}} = \frac{610,000}{265,125} \times 100 = 230$	全図書資料の年間平均貸出し状況を算出することにより、図書資料利用割合を把握する。	244	228	230	232	234
	図書資料購入目標達成率	$\frac{\text{図書購入決算額}}{\text{予算額}} = \frac{17,560}{17,720} \times 100 = 99.1$	図書資料購入目標の達成状況について、予算の執行率により把握する。	100	100	100	100	100

## 9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費	決算(予算)額	44,697	45,171	34,730	30,116	30,116
	人員・時間数	32.5千時間	35.3千時間	39.5千時間	39.5千時間	39.5千時間
	人件費	109,813	105,816	106,185	106,185	106,185
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	154,510	150,987	140,915	136,301	136,301
特定財源		44	34	30	0	0
対象数		606	610	610	615	620
対象の単位あたり経費		255.0	247.5	231.0	221.6	219.8

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度	<input checked="" type="checkbox"/>	高	<input type="checkbox"/>	中	<input type="checkbox"/>	低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度	<input checked="" type="checkbox"/>	高	<input type="checkbox"/>	中	<input type="checkbox"/>	低
	C:達成していない		・事業目標の達成度	<input type="checkbox"/>	高	<input type="checkbox"/>	中	<input type="checkbox"/>	低
		説明	資料利用率は目標数値と比較してどうかを記入する。						
(2)必要性 評価 A ▼	A:適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/>	・市民や社会のニーズにかなっている					
	B:一部適応していない		<input type="checkbox"/>	・状況の変化(対象や内容)に対応している					
	C:適応していない		<input type="checkbox"/>	・当初設定した事業目的が達成されていない					
		説明	<input type="checkbox"/>	・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある					
(3)有効性 評価 A ▼	A:有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位の施策、計画目的達成のために有効である					
	B:一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/>	・期待された成果が得られている					
	C:有効ではない		説明						
		市民の知識、教養、調査研究、レクリエーションに資する上で有効である。							
(4)効率性 評価 A ▼	A:優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/>	・予算や人員に見合った効果が得られている					
	B:一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/>	・他市と比べてコストや効率性が優れている					
	C:改善の余地がある		<input type="checkbox"/>	・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている					
		説明	<input type="checkbox"/>	・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない					
		市民の図書資料の利用率を一層高める工夫をする。							
(5)公平性 評価 A ▼	A:公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/>	・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である					
	B:一部公平でない		<input type="checkbox"/>	・受益者の費用負担は適正である					
	C:公平でない		<input type="checkbox"/>	・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)					
		説明	対象は市民全員であり、3図書館、1分館図書館サービスのネットワークは公民館との協力により地域に広がっている。						
成果向上の余地			事業費削減のために取り得る手段と削減額						
<input checked="" type="checkbox"/> ある	説明: 市民の資料利用要求はますます高い。他市図書館との相互協力、開館日数等の点検により利用機会の拡大の研究を図る。	手段	図書館事務の民間委託領域見直しの検討。 現行では、図書資料の分類、図書目録の電算用データ作成等を事務委託しているが、将来さらに委託可能分野拡大について研究を行う。						
<input type="checkbox"/> ない		削減額	千円						

11 総合評価

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較					
		横須賀市(4館)	厚木市(1)	大和市(1)	藤沢市(4)	町田市(6)	
		蔵書冊数	677,035冊	616,924	352,103	1,132,203	916,000
		貸出冊数	936,923冊	1,220,627	714,552	3,824,998	3,929,000
今後の進め方		蔵書回転率	138%	198	203	338	429
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明					
<input type="checkbox"/>	見直し	相模大野図書館利用の状況は、資料貸出者数において年間延べ228千人の利用を得ており、今後さらに増加が見込まれる。					
<input type="checkbox"/>	廃止	また、図書館のもう一つの主要機能である、利用者の調査研究支援(相談業務)への対応力量も問われており、職員個々の資質の向上が一層重要となっている。					
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済						

12 二次評価コメント

--